

1 調査名称：鯖江市都市計画道路見直し検討調査

2 調査主体：鯖江市

3 調査圏域：近畿都市圏

4 調査期間：平成24年度

5 調査費：3,000千円（当年度までの合計：3,000千円）
（総合都市交通体系調査）

6 調査概要：本市では、平成22年度に鯖江市道路ネットワーク整備計画の検討調査を研究会方式で行った結果、都市計画道路の見直しが提案された。その中でも廃止候補（条件付き）の代表的路線である鳥羽中芦山線について、ワークショップ方式により地元住民の意見を取り入れながら今後の整備方針の検討を行い整備計画案を作成する。
また、他路線への波及も考慮しモデルケースとして実施していく。

I 調査概要

1 調査名：鯖江市都市計画道路見直し検討調査

2 報告書目次

1. 調査の概要

2. 現況の整理

2-1 道路（車道）幅員

2-2 電柱の立地状況

幅員・電柱 調査図

2-3 支障物件調査

2-4 その他の情報（通学路・交通事故・通学路安全点検・文化財・53条申請）

通学路

交通事故

通学路安全点検結果

指定文化財

都市計画法53条申請状況

3. 昨年度モデル地区（水落WS）の概要

WS実施写真

参加者名簿

新聞記事

市長への要望書（H24.9.20）

WS関係資料

4. ワークショップ（WS）の開催

4-1 WS開催の概要

4-2 住民参加者名簿（WS参加記録）

4-3 使用した説明資料（パワーポイント・配布資料）

鯖江地区 第1回WS

神明地区 第1回WS

鯖江地区 第2回WS

神明地区 第2回WS
第3回WS（両地区共通）

- 4-4 WS実施写真
- 4-5 WS議事録（鯖江地区）
WS議事録（神明地区）
- 4-6 意見の集約

5. 整備案の作成

- 5-1 有効幅員の設定
- 5-2 路側帯の設置
- 5-3 交差点の改良
整備（案）の図面 [縮小版]

6. まとめ・今後の課題

各種検討・参考資料

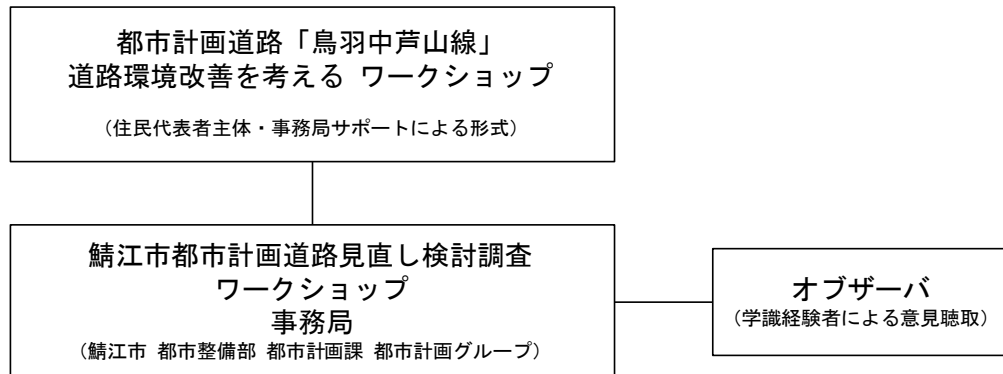
現地写真

概算工事費の算出

沿線住民説明会用のパワーポイント（案）

現行都市計画決定幅入り図面（借用資料を添付）

3 調査体制



4 委員会名簿等：

住民ワークショップ 住民代表者

地区	所 属 (町内会名)	区長氏名	代表者数
鯖江地区	長泉寺町1・2丁目	吉村 徹	7
〃	深江町	藤田 順一	5
〃	舟津町2丁目	齋藤 卓実	8
〃	舟津町3丁目	田中 涼一	6
〃	舟津町4丁目	葛野 正栄	7
神明地区	神明町4・5丁目	落合 忠雄	7
〃	神明町3・4丁目	福嶋 昭二	7
〃	神明町2丁目	高島 幸夫	5

事務局	鯖江市 都市整備部 都市計画課	課長	渡辺 俊之
〃	〃	参事	長谷川 伸英
〃	〃	課長補佐	法水 直樹
〃	〃	主査	森下 芽紅美
〃	一般財団法人 地域環境研究所	事務局長	村松 俊明
〃	〃	客員研究員	三寺 潤
〃	〃	客員研究員	中村 健太郎
オブザーバ	福井大学大学院	教授	川上 洋司
〃	福井工業高等専門学校	教授	武井 幸久
〃	一般財団法人 地域環境研究所	理事長	本多 義明 (福井大学名誉教授)

II 調査成果

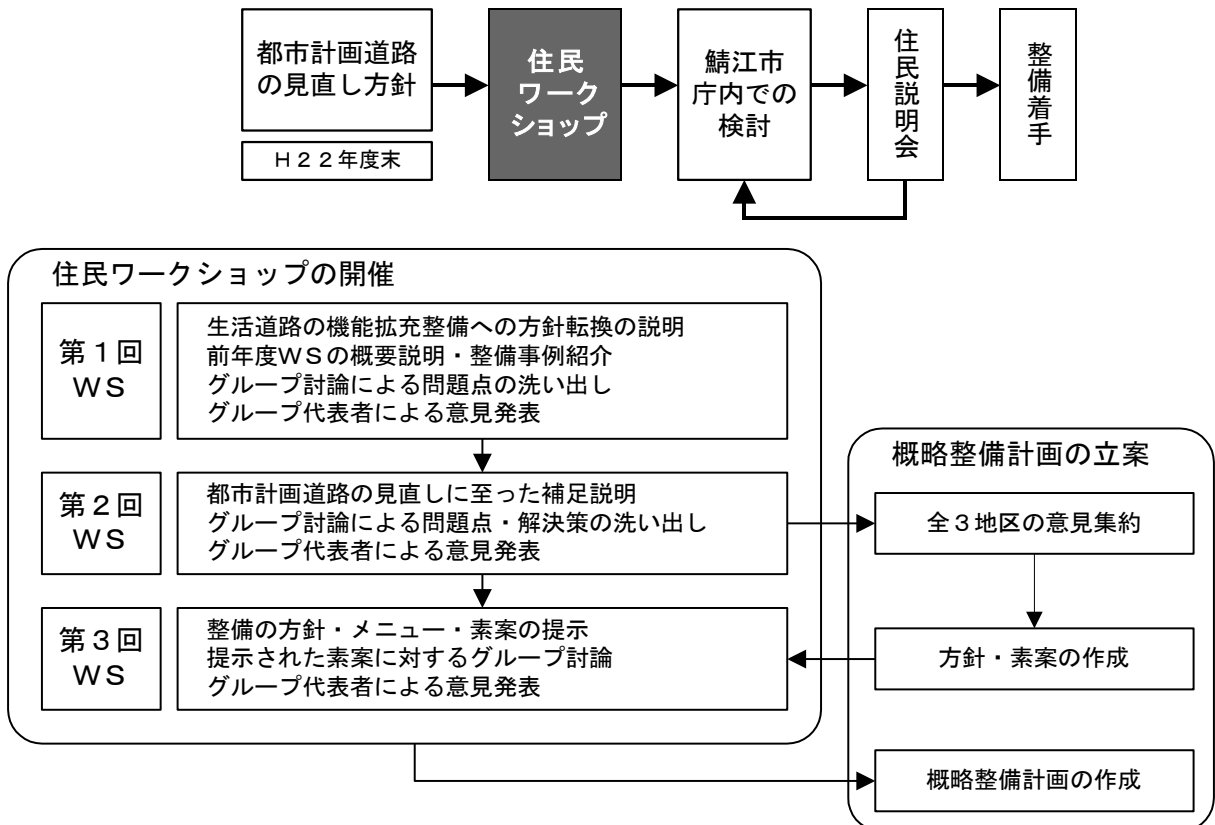
1 調査目的

平成22年度に実施した「鯖江市道路ネットワーク整備計画」の成果を受け、都市計画道路の長期未整備路線の中で廃止候補（条件付き）に位置づけられた未整備延長5.0kmの「鳥羽中芦山線」を対象として、都市計画道路の見直しに関する住民ワークショップを開催する。「生活道路の機能拡充」に重視したコミュニティ道路への整備転換に向け、沿道住民の目線から問題点や方向性を抽出して意見を集約し、地区代表者レベルの合意形成を得た概略整備計画の作成を行う事を目的とする。

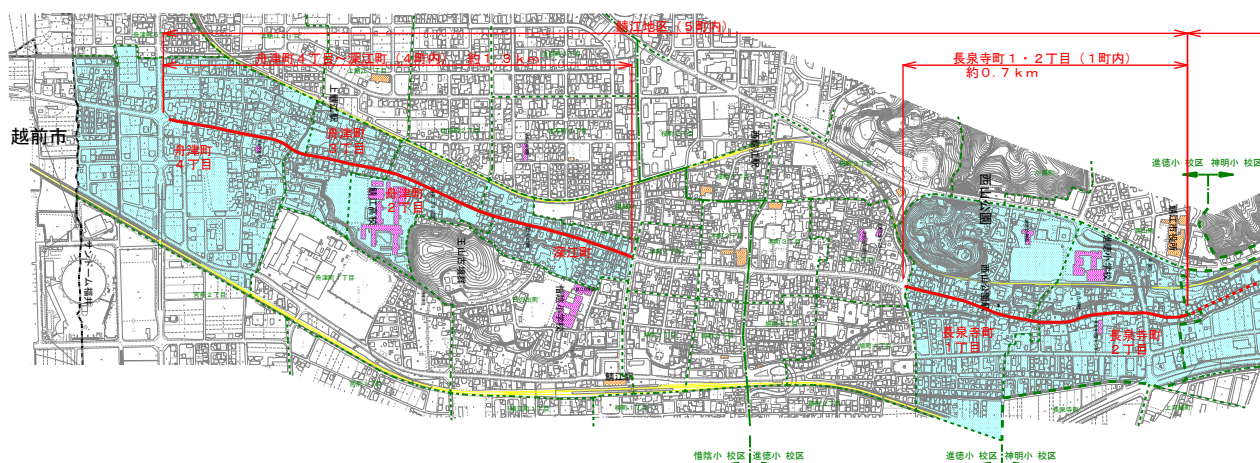
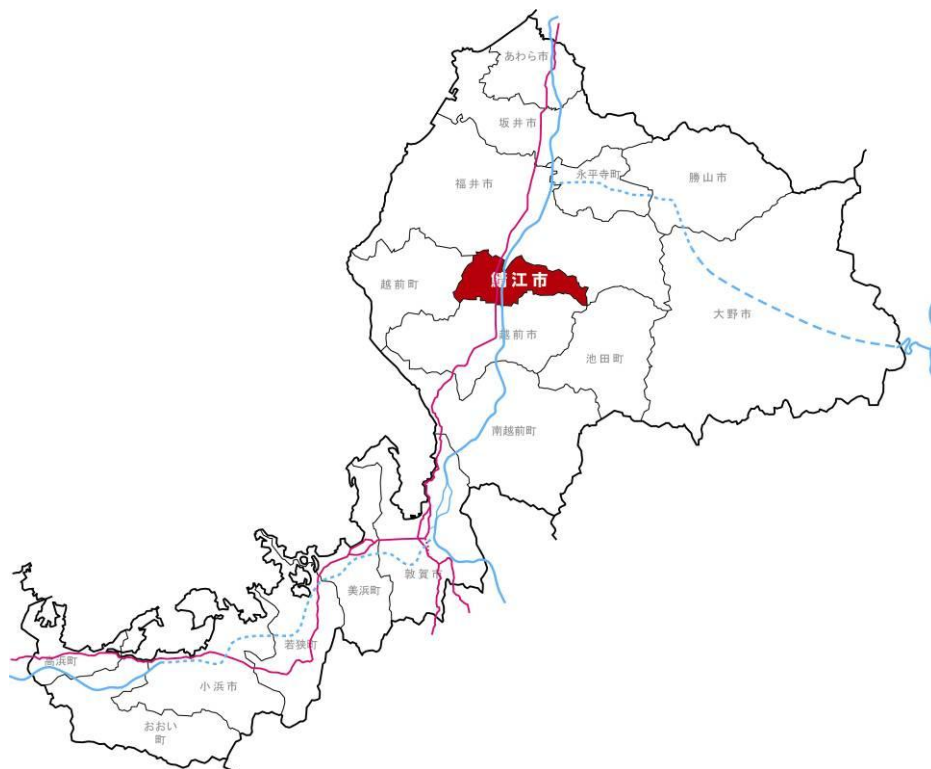
住民ワークショップは、昨年度の平成24年1～7月に福井大学 川上洋司教授の研究目的で実施した水落地区（L=1.8km）のワークショップを参考にし、本調査は残る2地区の鯖江地区（2.0km）、神明地区（1.2km）を対象とするものである。

この3地区の住民ワークショップの結果を集約し、鳥羽中芦山線の残区間全線における方針統一された整備計画を作成する。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

＜住民ワークショップ（WS）で達成したい目標＞

本ワークショップ〔以下、WS〕は、役員レベルの地区代表者を参加対象とし、主に以下の項目を達成する為に行った。

- ① 「H22 年度に実施した鯖江市内の都市計画道路見直しの提案」および「国道 8 号バイパスなど南北幹線の整備」「安全性を重視した道路整備への転換」「莫大な整備費用と支障物件、および厳しい市の財政状況」などの社会変化から総合的に判断し、鯖江市として鳥羽中芦山線の都市計画決定を廃止したい方針の旨について、地区代表レベルでの合意形成を得る。
- ② しかし『鳥羽中芦山線』は、幅員狭小など生活を支える道路としての多くの問題点や旧北国街道で歴史性が有りながら活かされていないなど現状課題も多い。また生活道路として整備したい場合に幹線道路整備目的の都市計画決定の法的な線が逆にネックになっている現実もあることから、都市計画道路を廃止して『生活道路の機能拡充』に重視したコミュニティ道路としての整備に転換したい方針の理解を得る。
- ③ 生活道路の機能拡充整備に向け、『住民意見が反映される形での生活・安全を重視した道路環境改善』を目指すため、利用者・沿線住民目線からの問題点や方向性を抽出し、意見を集約する。
- ④ WS 開催 3 地区（水落・鯖江・神明地区）の意見を総括し、路線全体で統一された整備計画方針を作成し、今後の具体的整備計画へとつなげていく。

＜WS 開催の概要＞

	鯖江地区	神明地区
	【開催場所】鯖江市 饗陽会館 2F	【開催場所】鯖江市 文化の館 2F
WS # 01	平成 24 年 10 月 1 日（月）19：00～ [住民参加者 24 名]	平成 24 年 10 月 4 日（木）19：00～ [住民参加者 8 名]
WS # 02	平成 24 年 11 月 30 日（金）19：00～ [住民参加者 17 名]	平成 24 年 11 月 27 日（火）19：00～ [住民参加者 9 名]
WS # 03	平成 25 年 2 月 4 日（月）19：00～ [住民参加者 21 名]	平成 25 年 2 月 5 日（火）19：00～ [住民参加者 5 名]

<実施したWSの流れ・議題>

<p>WS # 01</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本WSの趣旨説明 ◆ 都市計画道路見直し（廃止）したい市の意思表示 ◆ 質疑応答 ◎ グループ討論（各町内ごと） ※ 以下、主な問い掛け事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活道路拡充整備に向けた問題箇所の洗い出し Ex. 歩けるスペース、危ない交差点、通学路の安全、すれ違い困難 など。 ◎ 代表者による発表
<p>WS # 02</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 都市計画道路見直し（廃止）に至った補足詳細説明 (事業費・支障物件数・整備年数・交通量・交通事故・費用対効果など) ◎ グループ討論（各町内ごと） ※ 以下、問い掛け事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区（町内会）別の見直しの大まかな方向性の確認 →「存続」「変更」「廃止後、生活機能拡充」 ・ 生活道路拡充整備に向けた問題箇所の洗い出し（再確認） ◎ 代表者による発表
<p>WS # 03</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 現況の紹介（車道幅・電柱立地） ◆ 整備メニュー（案）の提示、および考え方の説明 ◆ 図面による整備案の提示 ◎ グループ討論（各町内ごと） ※ 以下、問い掛け事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 提示した整備案について思うこと ・ 路側帯・車道幅の幅員構成 ・ 各対策の優先順位・これは特に実施して欲しい対策 ・ “電柱の民地移設” “待避所拡幅” は現実的どうか？ ・ 速度規制について、住民理解は得られそうか？ ・ 町内の住民から追加された、その他の問題点は無いか？ など。 ◎ 代表者による発表

<WSの様子>



鯖江地区



神明地区

< 3 地区全体の意見集約 >

鳥羽中芦山線 WS 対象 3 地区の全体における問題意識の傾向を以下にまとめた。
路線全体的に見て、指摘地区が多い問題項目としては、以下のようなものが挙げられる。

- ◆ 道路構造の問題 …………… 「すれ違い困難」「歩行空間が不十分」「危ない交差点」
- ◆ 道路付属物の問題 …………… 「電柱への問題視」「路面・側溝の不良」
- ◆ 交通の問題 …………… 「通学路が危ない」「車がスピードを出す」「域外・東西交通」
- ◆ 生活の問題 …………… 「排水対策が不十分な箇所がある」「歴史・景観性が無い」

※ “○” 4つ以上をピックアップ

鳥羽中芦山線WS 地区別の問題点集約 一覧表

挙げられた主な問題点		鯖江地区					水落地区	神明地区		
		舟津 4	舟津 3	舟津 2	深江	長泉寺 1・2	水落 2・3・4	神明 2	神明 3・4	神明 4・5
道路 構造 の問題	道路が狭くすれ違い困難		○	○		○	○		○	○
	歩行空間・対策が不十分	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	危ない・不便な交差点		○	○	○	○	○	○	○	○
道路 付属物 の問題	電柱の問題視		○	○	○	○	○	○	○	○
	路面・側溝フタの不良		○	○	○	○	○	○		○
	消雪装置の不良		○			○		○		
	照明・街灯が少ない			○		○			○	
交通 の問題	通学路が危ない	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	車がスピードを出す		○	○	○	○	○	○		○
	域外の交通・東西の抜け道			○	○		○	○	○	○
	宅地開発からの新たな交通							○	○	
道路 周辺 の問題	セットバック済が多い	○								
	空地や広場の対策・使い道			○			○			○
	東西道路の充実						○			
生活 の問題 ・ その他	排水対策の不良・溢れる		○					○	○	○
	歴史性が無い・景観不良			○		○	○	○		
	ゴミ置き場の問題				○		○			
	鉄道駅へのアクセス		○			○	○			○
	コミュニティバス			○						
	整備された道路による 地区分断の経験						○ 北野水落線 (H18)		○ 鯖江 清水線 (S49頃)	

＜WS 第3回のグループ討論内で頂いた“整備案に対する意見”＞

鯖江地区	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 子供の安全を考え、30km/h 速度規制は必要。 ◎ 優先度的には、「①消雪の改善(水の出が悪い)」「②路面の改良」 ◎ 個人の敷地(空地)が、既に「待避所」として使われている箇所がある。 ◎ 「擁壁による拡幅」は民地側との協議は必要だが、案としては賛成。 ◎ 幅員が狭いので、通学領域確保や工事期に留意が必要。(休学時期など)
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 住民として生活道路の意味合いが強く、両側の路側線は実施して欲しい。 ◎ 電柱が安全スペースとなって駐車があるが、違反取締をしないのは問題。 ◎ 「電柱の民地移設」は代替地が難しいので、片側集約が良いのでは？ ◎ フタ付側溝も道路幅員として見なす事は知らなかった。 ◎ 「通学路の変更」もやむを得ないのではないかと？ ◎ 行政側の縦割りで、部署ごとに方針がバラバラで横の連携が成されていない。道路河川課の話も聞きたいし、一貫性を持った計画を立てて欲しい。
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 優先順位の高いもの <ul style="list-style-type: none"> ・ 速度制限(20km/h でも良いのでは?) ・ 電柱の移設 ・ 路側帯の両側 ・ 速度を落とす工夫 (消雪があるので『ハンプ』も可能では?) ・ 有効幅員 5m は最低確保 ・ 照明を明るく(LED 化など) ◎ 消雪の向上。路側に排水が貯まると歩行者が道路中央寄りを歩くようになる。 ◎ コミュニティバスを通して欲しい。 ◎ 空き家から、「待避所」「拡幅」を実施してはどうか？ ◎ 交差点(住吉町への T 字路)……交差点付近の電柱は移設して欲しい ◎ 交差点(鯖江高校進入の T 字路)……鯖江高校下り坂の自転車スピードを落とさせる対策(グルーピング、注意喚起など) ◎ 歴史性が伺える、視覚的に判り易い整備を。
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「両側の路側帯」「速度規制 30km/h」は、是非実施して欲しい。 ◎ 舗装の改善。横断勾配を山型にし路側まで消雪水が行き渡る様に。 ◎ 消雪装置が古く(S40 頃設置?)、舗装改善とセットで改良して欲しい。 ◎ 電柱は合向いなど移設して欲しい箇所はあるが、民地移設は難しいか？ ◎ その他、「照明」「待避所」「路地の拡幅」
神明地区	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 現状の道幅で安心して暮らせるためのシステムを考えて欲しい。 ◎ 防災観点から道幅は 5m で大丈夫か？(消火活動・緊急車両時) ◎ 速度規制は設けて欲しい。(電柱が速度抑制になるのでは?) ◎ 児童館の前・危険交差点は、着色や路面表示等で注意喚起。 ◎ 環境を整えてから、マナーの徹底を呼びかける。 ◎ 将来的には、電柱の地中化を目指して欲しい。 ◎ 染北線 T 字路は、福井方面からの対向車(右折)が視認しにくい。 ◎ 路側幅の重視は車道か？路側帯か？ 歩行者優先の道づくりにして欲しい。(8 月に要求して引いた白線は車道優先だった) ◎ 染北線の歩道が除雪していないため、学童は車道通行している。

<整備案の作成>

改訂 鯖江市都市計画マスタープランにおいて鳥羽中芦山線の整備残区間がコミュニティ道路として位置づけられた背景を受け、以下のような整備テーマ(案)を掲げた。

このテーマの下、各WSで出された意見を踏まえた考えられる対策(案)を抽出し、『3地区WSを総括した意見集約の傾向』『路線全体の統一性』『整備の実現可能性』を考慮して、最下表のような整備(案)軸を設定した。

整備テーマ (案)

- ◆ 現況道路幅内での改良を基本とした整備
- ◆ 生活道路に重きを置き、子供や高齢者の安全・安心に配慮した整備
- ◆ 防災・緊急時を考え、最低限の車両すれ違いを満たす整備
- ◆ 「旧北国街道」「歴史の道」と調和する整備

主な問題点	考えられる対策【案】				
道路が狭い	道路拡幅	待避所設置			
歩行空間の不良	歩道設置(現道内)	歩道設置(拡幅)	路側帯設置	歩車共存型	街灯
通学路が危ない	歩行空間の確保	看板・標識設置	通学路再編		
車がスピードを出す	規制標識(30)	交通規制	路面表示	狭さく・路面凹凸	
地域外からの交通	交通規制	標識設置			
交差点が危ない	交差点明確化	照明・カーブミラー等	隅切見通し拡幅	出入り規制	信号設置
電柱	片側集約	民地納入	現状を活かす	軒先配線	電線地中化
路面・側溝フタの不良	舗装補修	フタ補修	側溝暗渠化		
排水	断面アップ	経路増強	街路型の側溝		
歴史景観が良くない	系色の統一	美装化した舗装			
融雪装置	補修	改良	保守・点検		
その他	コミュニティバス				

目的	対策メニュー	対象箇所
すれ違い困難への支援	電柱の移設・集約	有効幅員5m未満の電柱
	待避所拡幅(空地利用)	有効幅員5m未満の区間
	物件移転を伴わない拡幅	
歩行領域・安全の向上	両側路側帯の設置	全線
	舗装面の改良	全線(破損度に応じ)
	側溝面の改良	全線(破損度に応じ)
	街灯の保守・更新	全線
車両速度の抑制	速度規制 30km/h	全線
	路面表示	全線
東西路の向上	路側帯の設置(本線との接続)	小学校・鉄道駅との間
交差点の改良	交差点や優先道路の明確化(カラー舗装・発光鏡・照明・止まれ)	町内の主要交差点
	見通し向上対策(電柱移設・柱統合・カーブミラー)	
冬期交通の支援	消雪装置の保守・改良	全線
歴史性の向上	暖色・茶系統の色彩採用	全線

<今後の課題 等>

■ 今後のプロセスにおける留意事項

『廃止→生活機能の拡充整備』に向け、今後、考えられる事項を以下に整理しておく。
住民からの指摘にもあったように、行政内・自治体間における“横の連携”を強化して、“情報共有”や“鯖江市としての一貫性・統一性”が図れる体制作りが必要と考える。

- ◆ 行政に対して不信感を抱かせないため、実現できる整備を開示する。
- ◆ 貴重な時間を頂いて WS に参加された地区代表の期待感を失墜させないため、「歴史の道」「コミュニティ道路」の位置づけがあり通学路としての利用がある“鳥羽中芦山線”として、「歴史性を備えた生活機能拡充」の整備を達成する。

項目	実施機関・関係機関
住民説明会（都市計画の見直し）	住民
庁外の関係機関との協議	交通管理者・学校関係者・北陸電力・NTT
予算の確保・整備スケジュールの確定	鯖江市庁内（都市計画課・道路河川課）
整備方針・整備案の確定	鯖江市庁内（都市計画課・道路河川課）
住民説明会（生活機能拡充の整備）	住民・地区役員
社会実験（必要に応じ）	交通管理者
測量・調査・設計	

■ 今後、同様なワークショップ開催にあたっての留意事項

道路環境改善を議論の中心としたかったため『廃止』を先に出さずに挑んだ昨年度 WS「水落」、行政の意思表示として先に『廃止』を出した今年度 WS「鯖江・神明」、それぞれ違ったアプローチで望んだが、どちらも WS 初回に質疑応答に長時間を要した。

いずれにせよ質疑に応答できるスタンスは必要で、以下の事項など整理が必要である。

- 市の方針・スタンス、上位計画、路線全体の整備方針
- WS 開催の背景・趣旨
- 全体工程の設定と WS の位置づけ（現在から最終地点（整備）までの流れ）
- 都決廃止の意思表示（廃止に向けた経緯 etc）
- 長期未整備だった経緯、都決廃止の利点
（当時の決定理由、現行拡幅の支障数・概算費、都決廃止の長所短所 etc）
- 注ぎ込める予算・事業予定情報・市の財政状況（可能な整備・改良規模・事業期間）
- 現地情報（幅員・交通事故・交通安全点検結果、地域特性に関わる情報 etc）